

戦略の達成状況に係る指標の決定 内容

当社は、DX戦略の実効性を客観的かつ継続的に評価するため、業務効率化・業務自動化・顧客価値向上・組織能力向上の4領域においてKPIを設定している。これらの指標は、DX推進委員会および実務執行総括責任者のもとで半期ごとに進捗を確認し、必要に応じて改善施策を見直す仕組みを整備している。
主なKPIは以下のとおりである。

1 業務効率化に関する指標

- 個人結果票の作成の時間削減率
- 事業実施結果報告書作成の時間削減率
- 日報作成
- 管理把握の時間削減率
- 売上管理の作業時間削減率
- 社員就業時間管理作業削減率
- 面談記録の入力工数削減率
- スケジュール調整業務の自動化による時間削減率
- 重複作業削減および承認フロー簡略化の検討

2 業務自動化に関する指標

- 在庫下限アラート通知システムの稼働率
- 保健事業受付等のヒューマンエラー削減件数
- 自動化により削減された手作業プロセス数

3 顧客価値向上に関する指標

- 提出物（請求書等）の簡略化による協力企業等の負担軽減度
↳ 業務委託管理ツール導入に向けてトライアルを開始した(2026.3)
- 顧客満足度（アンケート等による定性・定量評価）

4 組織的なDX推進に関する指標

- 社員から収集した改善要望の解決件数
- 改善施策に対する社員満足度
- DXリテラシー研修の受講率
- DX推進委員会での改善提案採択数

KPIの運用方法

これらの指標は、DX推進委員会により半期または年度末に評価され、結果は社内ポータル等にて共有する。また、評価結果は翌年度の改善計画に反映し、継続的な業務改善とDX推進の高度化を図る。

実務執行総括責任者は、KPIの達成状況を経営層へ報告し、必要に応じて戦略の見直しを行うことで、DX推進の実効性を担保する。